

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月10日
【四半期会計期間】	第54期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	エバラ食品工業株式会社
【英訳名】	EBARA Foods Industry, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤川 雍中
【本店の所在の場所】	横浜市西区北幸二丁目5番15号 日総第三ビル
【電話番号】	(045) 314-0121 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 高井 孝佳
【最寄りの連絡場所】	横浜市西区北幸二丁目5番15号 日総第三ビル
【電話番号】	(045) 314-0121 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 高井 孝佳
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第1四半期 連結累計期間	第54期 第1四半期 連結累計期間	第53期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	11,979,625	12,591,446	49,313,357
経常利益(千円)	618,247	1,059,290	2,223,444
四半期(当期)純利益(千円)	295,202	582,650	1,104,082
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	259,261	594,808	995,740
純資産額(千円)	17,982,747	19,024,852	18,716,555
総資産額(千円)	30,937,881	31,907,934	30,687,065
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	27.81	54.91	104.03
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	58.1	59.6	61.0
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	249,749	606,874	2,477,666
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	26,920	204,171	2,313,472
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	20,759	22,738	289,158
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	6,268,477	6,315,728	5,935,101

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第53期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社は、平成23年6月20日に株式会社エバラCJフレッシュフーズを合併会社として設立したことから、関連会社を含めております。

これに伴い、当社グループは当社並びに当社の子会社5社(連結子会社4社)及び関連会社1社により構成されることになりました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により先行き不透明な経済情勢が続いております。食品業界におきましても、依然として消費者の生活防衛意識は高く、より一層の企業努力が求められる状況であります。

このような環境のもと、当社グループでは平成24年3月期を初年度とする中期3ヶ年経営計画を策定し、「価値創造企業への挑戦」の経営ビジョンのもと、「基盤事業の深耕による収益力の向上」「持続的成長に向けた事業育成」「ブランドマネジメントの推進」及び「企業体質の強化」を基本戦略として事業を展開しております。当第1四半期連結累計期間においては、『黄金の味 具だくさん』及び『浅漬けの素』のプロモーションを展開し、市場における商品認知度を高めるとともに、お客様への商品価値の訴求に努めました。

こうした結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、家庭用商品が好調に推移したことにより、125億91百万円（前年同期比5.1%増）となりました。利益面においては、売上高の増加に加え、広告宣伝費の一時的な抑制等により、営業利益は10億19百万円（前年同期比89.2%増）、経常利益は10億59百万円（前年同期比71.3%増）、四半期純利益は5億82百万円（前年同期比97.4%増）となりました。

事業におけるセグメントの概況は、以下のとおりであります。

(食品事業)

家庭用商品につきましては、肉まわり調味料群、鍋物調味料群、野菜まわり調味料群が好調に推移したことにより、前年同期売上高を上回りました。

肉まわり調味料群では、平成23年2月に発売した『黄金の味 具だくさん』が大きく貢献したことにより、前年同期売上高を上回りました。鍋物調味料群及び野菜まわり調味料群につきましては、前年度からの価値訴求型プロモーションが奏功し、鍋物調味料群の『すき焼のたれ』及び野菜まわり調味料群の『浅漬けの素』が引き続き好調に推移したため、前年同期売上高を上回りました。特に、『浅漬けの素』は小さな子供を持つ若年世帯への訴求効果が顕著であり、大きく売上げを伸ばしております。その他群につきましては、チルド商品が競合激化により苦戦を強いられたため、前年同期売上高を下回りました。

業務用商品につきましては、その他群が『浅漬けの素』の貢献により堅調に推移したものの、肉まわり調味料群及びスープ群が低調な売上げとなった結果、前年同期売上高を下回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は113億27百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、広告宣伝事業及び人材派遣事業が前年同期を下回る売上げとなったものの、物流事業が取引拡大により売上げを伸ばした結果、その他事業の売上高は12億64百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3億80百万円増加し、63億15百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6億6百万円（前年同四半期は2億49百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前四半期純利益10億61百万円を計上し、仕入債務の増加額が5億60百万円であったものの、たな卸資産の増加額が5億84百万円であったこと等が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億4百万円（前年同四半期は26百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億52百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、22百万円（前年同四半期は20百万円の使用）となりました。これは配当金の支払額2億72百万円と短期借入金純増加額2億50百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億69百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,222,400
計	25,222,400

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	12,398,400	12,398,400	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	12,398,400	12,398,400	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年4月1日~ 平成23年6月30日	-	12,398,400	-	1,387,136	-	1,655,201

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,786,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,400,000	10,400	-
単元未満株式	普通株式 212,400	-	-
発行済株式総数	12,398,400	-	-
総株主の議決権	-	10,400	-

(注) 「単元未満株式」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
エバラ食品工業株式会社	横浜市西区北幸 2-5-15	1,786,000	-	1,786,000	14.4
計	-	1,786,000	-	1,786,000	14.4

(注) 上記の他、単元未満株式848株を所有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,294,081	6,680,708
受取手形及び売掛金	7,764,806	8,039,542
有価証券	1,088,202	788,951
商品及び製品	1,242,285	1,846,043
原材料及び貯蔵品	392,477	373,661
繰延税金資産	390,211	390,196
その他	585,616	648,884
貸倒引当金	4,247	4,272
流動資産合計	17,753,434	18,763,716
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,008,831	3,008,831
その他(純額)	5,529,597	5,519,124
有形固定資産合計	8,538,429	8,527,956
無形固定資産		
投資その他の資産	363,287	346,444
投資有価証券	2,114,708	2,368,070
長期貸付金	14,231	11,736
繰延税金資産	1,227,111	1,229,637
その他	739,583	723,900
貸倒引当金	63,721	63,526
投資その他の資産合計	4,031,914	4,269,817
固定資産合計	12,933,631	13,144,218
資産合計	30,687,065	31,907,934

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,679,628	6,240,732
短期借入金	166,404	416,601
未払金	1,114,373	1,073,250
未払法人税等	562,347	476,742
賞与引当金	253,885	585,739
販売促進引当金	505,107	489,033
災害損失引当金	56,968	4,964
その他	576,755	475,240
流動負債合計	8,915,470	9,762,303
固定負債		
退職給付引当金	2,753,749	2,826,997
資産除去債務	11,404	11,443
その他	289,885	282,337
固定負債合計	3,055,039	3,120,778
負債合計	11,970,509	12,883,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,387,136	1,387,136
資本剰余金	1,655,257	1,655,257
利益剰余金	17,500,107	17,796,245
自己株式	1,857,573	1,857,573
株主資本合計	18,684,926	18,981,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,688	49,552
為替換算調整勘定	12,059	5,764
その他の包括利益累計額合計	31,629	43,787
純資産合計	18,716,555	19,024,852
負債純資産合計	30,687,065	31,907,934

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	11,979,625	12,591,446
売上原価	6,094,028	6,277,379
売上総利益	5,885,597	6,314,067
販売費及び一般管理費	5,346,866	5,294,870
営業利益	538,730	1,019,196
営業外収益		
受取利息	6,040	6,999
受取配当金	13,909	15,853
受取賃貸料	6,059	9,087
保険解約返戻金	46,391	5,449
その他	8,111	4,361
営業外収益合計	80,512	41,750
営業外費用		
支払利息	952	844
為替差損	42	27
その他	-	784
営業外費用合計	995	1,656
経常利益	618,247	1,059,290
特別利益		
固定資産売却益	-	722
貸倒引当金戻入額	1,204	-
災害損失引当金戻入額	-	11,838
特別利益合計	1,204	12,561
特別損失		
固定資産除却損	3,845	1,712
投資有価証券評価損	-	9,066
ゴルフ会員権評価損	1,210	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	39,291	-
特別損失合計	44,346	10,778
税金等調整前四半期純利益	575,106	1,061,073
法人税等	279,903	478,422
少数株主損益調整前四半期純利益	295,202	582,650
四半期純利益	295,202	582,650

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	295,202	582,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,317	5,863
為替換算調整勘定	7,375	6,294
その他の包括利益合計	35,941	12,158
四半期包括利益	259,261	594,808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	259,261	594,808
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	575,106	1,061,073
減価償却費	302,387	281,345
固定資産除却損	3,845	1,712
固定資産売却損益(は益)	-	722
投資有価証券評価損益(は益)	-	9,066
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	39,291	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,204	170
退職給付引当金の増減額(は減少)	58,169	73,247
賞与引当金の増減額(は減少)	277,617	331,853
販売促進引当金の増減額(は減少)	28,248	16,074
災害損失引当金の増減額(は減少)	-	52,004
受取利息及び受取配当金	19,949	22,853
支払利息	952	844
為替差損益(は益)	42	-
売上債権の増減額(は増加)	607,229	278,595
たな卸資産の増減額(は増加)	95,996	584,263
仕入債務の増減額(は減少)	452,468	560,709
未払消費税等の増減額(は減少)	75,840	57,015
長期未払金の増減額(は減少)	90,131	6,720
未払金の増減額(は減少)	300,893	148,958
その他	38,380	5,054
小計	736,944	1,147,419
利息及び配当金の受取額	18,267	21,585
利息の支払額	1,317	844
法人税等の支払額	504,144	561,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	249,749	606,874
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	1,084	1,813
貸付けによる支出	5,180	-
定期預金の預入による支出	6,000	6,000
投資有価証券の取得による支出	2,320	2,359
有価証券の償還による収入	500,000	800,000
有価証券の取得による支出	100,228	499,770
関係会社株式の取得による支出	-	250,000
有形固定資産の売却による収入	-	938
有形固定資産の取得による支出	494,366	252,765
無形固定資産の取得による支出	13,697	11,499
ゴルフ会員権の取得による支出	28,000	-
その他	121,787	15,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,920	204,171

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	250,197	250,197
配当金の支払額	270,279	272,935
自己株式の取得による支出	677	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,759	22,738
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,240	662
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	203,309	380,627
現金及び現金同等物の期首残高	6,065,167	5,935,101
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,268,477	6,315,728

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(持分法適用の範囲の重要な変更) 当第1四半期連結会計期間において、当社は、株式会社エバラCJフレッシュフーズを合併会社として設立したことから、持分法適用の範囲に含めております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年6月30日現在) (単位：千円)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年6月30日現在) (単位：千円)
現金及び預金勘定	現金及び預金勘定
7,219,327	6,680,708
預入期間3ヶ月を超える定期預金	預入期間3ヶ月を超える定期預金
950,850	364,980
現金及び現金同等物	現金及び現金同等物
6,268,477	6,315,728

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年4月27日 取締役会	普通株式	286,580	27	平成22年3月31日	平成22年6月11日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年4月27日 取締役会	普通株式	286,511	27	平成23年3月31日	平成23年6月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品事業	その他 (注)	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	10,797,862	1,181,763	11,979,625
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	10,797,862	1,181,763	11,979,625
セグメント利益	592,677	31,464	624,142

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
 の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	592,677
「その他」の区分の利益	31,464
全社費用(注)	85,411
四半期連結損益計算書の営業利益	538,730

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	食品事業		
売上高			
外部顧客に対する売上高	11,327,097	1,264,348	12,591,446
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	11,327,097	1,264,348	12,591,446
セグメント利益	1,080,897	27,945	1,108,843

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,080,897
「その他」の区分の利益	27,945
全社費用(注)	89,646
四半期連結損益計算書の営業利益	1,019,196

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

共同支配企業の形成

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称 チルド事業

事業の内容 日本国内における家庭用チルド商品の販売

(2) 企業結合日

平成23年6月20日

(3) 企業結合の法的形式

当社とCJ CheilJedang Corporation(韓国 ソウル市)の持分比率を50対50とする合併会社の設立

(4) 結合後企業の名称

株式会社エバラCJフレッシュフーズ

(5) その他取引の概要に関する事項

当社では、平成18年度からチルド事業に参入し事業を育成してまいりましたが、さらなる事業成長を実現するためには、商品開発及び生産管理機能を強化することが大きな課題となっておりました。

そこで今般、これら課題を克服するため、CJ CheilJedang Corporationとの間で共同支配企業を形成する合併事業契約を締結しました。

(6) 共同支配企業の形成と判定した理由

この共同支配企業の形成にあたっては、当社とCJ CheilJedang Corporationとの間で、両社が株式会社エバラCJフレッシュフーズの共同支配企業となる合併事業契約を締結しており、企業結合に際して支払われた対価はすべて議決権のある株式であります。また、その他支配関係を示す一定の事実は存在していません。従いまして、この企業結合は共同支配企業の形成であると判定しました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共同支配企業の形成として処理しております。

なお、この企業結合の結果、株式会社エバラCJフレッシュフーズは当社の持分法適用関連会社となっております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	27円81銭	54円91銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	295,202	582,650
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	295,202	582,650
普通株式の期中平均株式数(株)	10,613,726	10,611,552

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年4月27日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....286,511千円

(ロ) 1株当たりの金額.....27円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成23年6月10日

(注) 平成23年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月9日

エバラ食品工業株式会社
取締役会 御中

三優監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 杉田 純 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 小林 昌敏 印

業務執行社員 公認会計士 熊谷 康司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエバラ食品工業株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エバラ食品工業株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。